八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 03 2024

「春を楽しむ」号

２月３日の節分の日、八丈島では大変ユニークな伝統があります。今では島でも、ほとんどの家で本土と同じように、「鬼は外、福は内」と豆まきをします。でも昔は「ヤキカガシ」という厄を祓う儀式を行いました。（ヤキカガシについては昨年２月号のこっこめ通信に特集記事が掲載されていますので、ご覧ください。）

みなさんの故郷では節分はどのように過ごすのでしょうか？機会があったら調べてみたいと思います。

さて、今月号は、２月に行った行事と春を待つ植物たちのお話です。　（M.K.）

オオシマザクラを咲かせよう！

不定期に開催している未就学児とその保護者を対象としたクラフトイベント「いっしょに作ろう！シリーズ」では、今回「廃材スタンプでオオシマザクラを咲かせよう！」と題して、トイレットペーパーの芯を再利用して作った花びらと葉っぱのスタンプで、八丈島に自生するオオシマザクラをみなさんに表現してもらいました。

お花見で有名なソメイヨシノとは違い、オオシマザクラは花と一緒に葉も出します。なのでインクは花弁の白とピンク、葉の緑の３色を使いました。輪の部分が花びらと葉っぱの形になるように芯を折り、スタンプを作ります。そこにインクをつけて、切り紙の木を貼った黒い画用紙に自由にペタペタと押してゆきます。

みなさん大胆で見事なオオシマザクラを咲かせてくれました。またいっしょに作って遊びましょう！（A.G.）

ザトウクジラを探せ！

昨年に引き続き八丈学講座で行ったホエールウォッチングには、実に７４名の方が参加されました。小雨交じりの寒風が吹きすさぶ藍ヶ江の足湯きらめきの周辺には、スタッフが到着した時点で、既に十数名の方が豪快に潮を噴き上げるクジラを見ようと待ち構えていました。肉眼でも見える距離の連続ブリーチングに「おー！」という歓声が起こり、又、職員よるザトウクジラの解説中にもブローを見つけた参加者から歓声が起こり、このクジラを間近で見るという非日常の体験を皆さんが満喫している様子が強く伝わってきました。

残念（？）ながら、この日のクジラショーの最大の見せ場が、イベント開始前の連続ブリーチングでした。ただ双眼鏡を覗きながらブローやテールが現れる毎に反応していた人々が、八丈近海のクジラの姿を目に焼き付けようとしていたのが、とても印象に残りました。（R.T.）

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

暦の上では春だけど…春待つもの達

　節分も終わり、暦の上では春を迎えました。とは言え、まだまだ春になったとは言い難い日もありますね。それでも、植物たちは春に向かって着々と準備を進めているようです。
　そんな春を待つ植物たちの今をご紹介したいと思います。　　（M.K.）

ヒガンバナの葉

ツワブキの新芽

フキノトウ

コケリンドウのロゼット

ヤブニッケイの新芽

オオシマザクラの蕾

シャリンバイの花芽

アカメガシワの新芽

ハチジョウキブシの花芽

アオキの花芽

オオムラサキシキブ新芽

ブラシノキの新芽

ハチジョウシダの新芽

ハラビロカマキリの卵鞘

ヤブツバキに訪れたミツバチ

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、４名の参加者＋スタッフ２名で調査を行う事ができ、シダ植物１９種を含む９１種類の植物を観察しました。オオタニワタリのフカフカの落ち葉だまりに今秋落ちたアロウカリアの種が発芽し、小さなアロウカリアがひっそりと育っていました。種を落とした株のように大きくなるにはいったいどれほど長い歳月がかかるのでしょうか。

八丈植物公園季節調査（2023 年度第 11 回）２月 11 日（日）、天気：曇り、気温：11.6℃、調査者：大道、沖山、沖山、茂手木、VC 木下・VC 高須

1	ヤブニッケイ	芽、ヒノキバヤドリギ
2	タコノキ	実、 気根の長さ：29. 5㎝、 太さ：１３.0㎝
3	オオタニワタリ	新芽２８本 (内１枚葉先が折れる)、最少丈 11 7㎝、幅１６cm
4	ニオイウツギ	枝に芽
5	ニオイバンマツリ	芽
6	オオシマザクラ	花・蕾

7	アオキ	虫こぶ	36	スズメノカタビラ	花	65	ムラサキカタバミ	花
8	アオノクマタケラン	熟した実	37	スダジイ	芽	66	モクレン	蕾
9	アシタバ	蕾	38	ストレチア	花	67	モチノキ	花・蕾
10	アロウカリア	実生株	39	センダン	落ちた実	68	モッコク	蕾
11	イヌビワ	実	40	センニンソウ	実	69	モンステラ	実
12	イヌマキ	花	41	タイミンタチバナ	花・蕾・実	70	ヤツデ	実残る
13	イワニガナ	実	42	タブノキ	燐芽	71	ヤブツバキ	花・実
14	ウスベニニガナ	花・実	43	チガヤ	実	72	ヤマモモ	蕾
15	オオシマカンスゲ	花・実	44	チチコグサ	花			
16	オオバヤシャブシ	蕾	45	ツルグミ	実	シダ植物		
17	オオムラサキシキブ	冬芽	46	ツルソバ	花	1	イシカグマ	
18	オニタビラコ	花・蕾・実	47	ツワブキ	実・花	2	オオイタチシダ	胞子嚢
19	オランダミミナグサ	花	48	テイカカズラ	実	3	オニヤブソテツ	胞子嚢
20	ガクアジサイ	熟した実	49	トベラ	実残る	4	カニクサ	
21	カジイチゴ	若葉	50	ニラバラン	葉	5	タチクラマゴケ	紅葉
22	カタバミ	花	51	ノシラン	実	6	タチシノブ	
23	キヅタ	実	52	ハキダメギク	花	7	タマシダ	胞子嚢
24	キルタンサス	花	53	ハゼノキ	実残る	8	ナチシケシダ	
25	キバナシュクシャ	爆ぜた実	54	ハチジョウキブシ	蕾	9	ノキシノブ	
26	クラリンドウ	実残る	55	ハナモモ	蕾	10	ハチジョウカナワラビ	胞子葉
27	ケナシノジスミレ	花	56	ハルジオン	花	11	ハチジョウシダ	
28	コケリンドウ	蕾	57	パンジー	花	12	ハマハナヤスリ	胞子葉
29	コナスビ	花	58	ヒガンバナ	葉	13	ヒトツバ	
30	コハクサンボク	新芽	59	ヒサカキ	蕾・花・若い実	14	ヘラシダ	
31	コハコベ	花・実	60	ヒメムカシヨモギ	花・実	15	ホシダ	
32	サカキカズラ	実	61	フウトウカズラ	実	16	ホラシノブ	
33	シマクサギ	実	62	フェニックスロベレニー	実残る	17	マツバラン	
34	スイセン sp.	花	63	ヘクソカズラ	実	18	マメヅタ	
35	ススキ sp.	実	64	ホルトノキ	落ちた実	19	ヤマイタチシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、季節調査会で毎回見ている「カタバミ」にスポットを当ててみたいと思います。

カタバミ　*Oxalis corniculata*

カタバミ科カタバミ属の多年草。日本全土に分布しています。

植物公園季節調査会では、このカタバミの他に、葉が赤く小さい「アカカタバミ」、花がピンクで結実せず鱗茎で増える「ムラサキカタバミ」を毎回記録・観察しています。

小さなチョウ、ヤマトシジミはこのカタバミを食草としているので、葉が食べられていると幼虫が見つかります。

2024 3

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
					1 07:39 20:44 01:40 14:14	2 ガイドウォーク 07:56 21:45 02:02 14:56
3 ガイドウォーク 08:14 02:21 15:55	◑ 4 00:00 08:33 02:23 17:27	啓蟄 5 08:54 19:18	6 04:07 12:23 09:20 20:37	7 04:25 14:18 09:46 21:32	8 04:49 15:25 10:15 22:17	9 ガイドウォーク 05:14 16:20 10:47 22:58
● 10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 05:40 17:11 11:20 23:36	11 06:04 18:00 11:54	12 06:27 18:48 00:11 12:30	13 08:00 20:27 01:39 14:14	14 07:06 20:26 01:10 13:45	15 07:24 21:25 01:32 14:27	16 ガイドウォーク 07:39 23:06 01:46 15:17
◐ 17 ガイドウォーク 07:51 01:32 16:26	18 07:40 18:12	19 04:54 19:57	春分 20 ガイドウォーク 04:23 13:54 10:05 20:58	21 04:29 15:01 10:09 21:39	22 04:41 15:47 10:25 22:12	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「大人クラフト スケルトンリーフアート」 04:54 16:25 10:43 22:41
24 ガイドウォーク 特別講演会 「世界でここだけ！ 八丈島の昆虫たちの魅力」 05:08 17:00 11:03 23:08	○ 25 05:23 17:35 11:25 23:34	26 05:39 18:08 11:49	27 05:57 18:43 00:00 12:14	28 06:15 19:18 00:26 12:41	29 06:34 19:55 00:50 13:11	30 ガイドウォーク 06:52 20:40 01:14 13:44
31 ガイドウォーク 07:11 21:43 01:37 14:24						この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 3／10 （13：30～ 約１時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「大人クラフト スケルトンリーフアート」	毎月行っている八丈学講座。木の葉から葉脈を取り出し葉を観察した後、アートフレームを作ります。 3／23 （13：30～ 約１時間半） ビジターセンターにて 無料 定員：10名
特別講演会「世界でここだけ！ 八丈島の昆虫たちの魅力」	九州大学大学院比較社会文化研究院教授荒谷邦雄氏をお招きし八丈島の昆虫のお話をしていただきます。 3／24 （18：00～ 約１時間半） 小学生以上 ビジターセンターにて 無料
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約１時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～	八丈・海・生きものたち
11：00～	おじゃりやれ 八丈島
14：00～	おじゃりやれ 八丈島
15：00～	おじゃりやれ 八丈島
16：00～	八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.3.1 第 274 号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

いつもより気温が高く温かい日が続いた２月。暖かい日が続いた後に寒気が入ってきて、前日より１０度近く気温が下がることも多かったです。本格的な春まであと少し！それまで風邪などひかぬよう、ご自愛ください。 （M.K.）